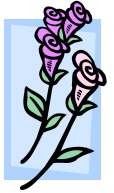


# アトピー性皮膚炎



アトピー性皮膚炎とは、乾燥肌とアトピー素因(※)を持っている患者さんが、特徴のある部位に湿疹があり、良くなったり悪くなったりを繰り返す湿疹です。

※アトピー素因とは、ご家族あるいはご本人が、アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、喘息を持っているということです。

1. **フィラグリン**：皮膚の表面にある角層(垢になって剥ける部位)は皮膚のバリア機能(外界からの細菌などの侵入を防ぐ)の役割をしています。フィラグリンは角層に大事な成分です。近年フィラグリンの遺伝子の異常が発見され、日本人のアトピー性皮膚炎の患者さんにおいて 20%ぐらいにこの異常がみられると報告されています。

2. **症状**：かゆみがあり、皮膚の乾燥と、赤い湿疹が出現します。年齢によって湿疹の出来るところが違います。乳児は頭部、体幹、四肢。幼児は肘や膝の内側、首、おでこ。成人は広範囲にできます。

## 3. 治療：

(ア) **塗り薬**：アトピー性皮膚炎は皮膚が乾燥しているのでしっかり保湿剤を塗りましょう。痒みや皮膚の赤さに合わせて、ステロイド外用剤、プロトピック、最近ではコレクチム軟膏が使えるようになり痒みがかなり抑えられます。

(イ) **飲み薬**：免疫抑制剤(ネオオーラル) や JAK 阻害剤 (オルミエント、リンボック等) が使用可能。

(ウ) **注射**：デュピクセントという注射が使えます。クリニックでも導入可能です。ご相談下さい。

(エ) **光線療法**：ナローバンド UVB を当てることでかゆみも収まる場合があります。

## 4. 注意すること

(ア) **擦らない、叩かない**：かゆみが強いと擦ったり、叩いたりすることがありますが逆効果です。できれば、タオルなどで包んだ保冷剤などで冷やすと楽になります。

(イ) **入浴方法**：お風呂でゴシゴシするのは禁物です。優しく洗いましょう。

(ウ) **眼科受診**：白内障や網膜剥離などの目の症状を起こす可能性があります。できれば定期的に眼科受診をお勧めします。

(エ) **感染症**：乾燥肌によって皮膚のバリア機能が低く、ヘルペス等の感染症に罹りやすくなります。